

引戸の話をしませんか？

使いやすさと、安心と、心地よさ。最新の話から豆知識まで、引戸の機能にまつわる様々な話を集めました。

「断熱と通風の話。」

玄関は、冬に寒く、夏に暑くて当たり前？ 靴入れのニオイや湿気も気になります。適度に風を通しつつ、冷たい空気、暑い空気から玄関を守る機能をご紹介します。

「たてつけが悪く、すきま風。夏は暑く、冬は寒い」

「靴入れのニオイが、玄関中にこもっているみたい」



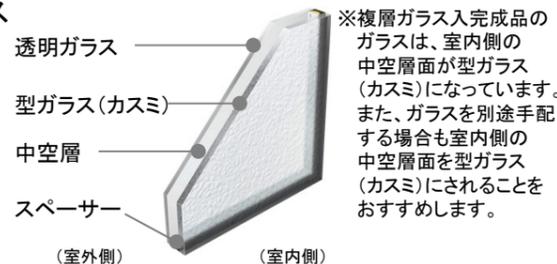
「いつも、何となくジメジメして不快。思い切り換気したいなあ」



複層ガラス仕様なら、冷暖房の効果がアップします。

複層ガラスは、2枚の板ガラスの間に空気を密封して断熱性を高めたもの。冷暖房の効果が上がるほか、結露を軽減することができます。

●複層ガラス



気候や要望に合わせて選べるガラス仕様

住まいや要望に合わせて、ガラス仕様や出荷形態が選べます。

基本ガラス設定

オススメ

出荷形態	複層ガラス仕様	単板ガラス仕様
ガラス無	●	●
ガラス入	●	—



全面ガラス化で断熱性能が向上

断熱性能の向上を目的に全面ガラス化を実施しました。また、意匠性への配慮として浮き桟構造を採用。美しい格子の表現を再現しています。



仕様

性能
耐風圧性：S-2
気密性：A-3

材質
引戸・枠・ランマ：アルミ押し出し形材
下枠：ステンレス

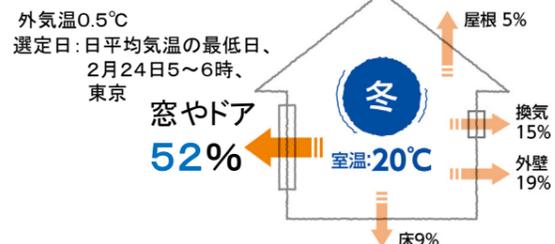
※一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。
※気象・立地の条件によっては、枠と引戸本体のすき間やガラスの額縁まわりから室内側の土間に水が入ってくるおそれがあります。
結露・凍結・雪の吹き込みなどに対するご注意
※室内外の温度差が大きく室内の湿度が高いような場合に、自然現象として結露が発生します。したがって断熱引戸を使用しても、室内外の条件によっては結露が発生し、それが凍結に至る場合があります。結露が発生した場合は、十分に拭き取り、結露を抑えるために室内の湿度を生活に支障のない限りできるだけ低く保つようし、こまめに換気を行ってください。
※台所・浴室・洗濯室など湿気が発生する部屋と仕切られていない場所への引戸の設置はお控えください。直接風雪が扉に吹込む場所へは、風除室などを設置されることをおすすめします。

開口部からは、こんなに熱が出入りしています

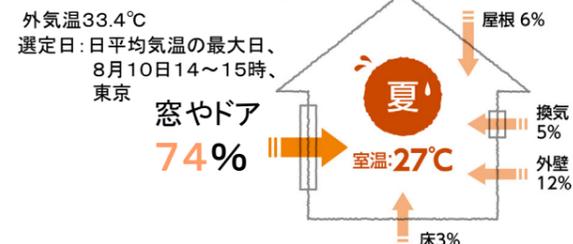
家の開口部(玄関の戸、窓)からは、私たちが考える以上に熱が出入りしています。開閉時はもちろんですが、閉めているときも、熱はすき間から少しずつ漏れ出したり、入ってきたり。そんな開口部を最新の素材と構造で断熱化すれば、冷暖房の効率もアップ。居心地のいい、エコな部屋が実現します。

※「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプランにおける例で、AE-Sim/Heatによる当社の計算結果より。窓種：アルミ(複層ガラス)

●冬に流出する熱の割合



●夏に流出する熱の割合



網戸を取付けて、通風・換気。

選べる3種類のスライド網戸(オプション)

通風・換気のため、引戸を開けたままにしておきたいときに便利なのが網戸。引戸のデザインや機能に合わせた選択も可能です。



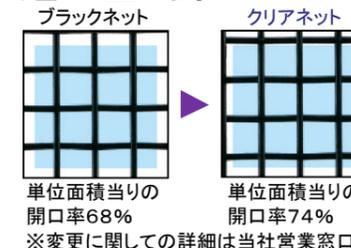
※内外バーハンドルを選択の場合は、スライド網戸XMEを取付けできません。ご注意ください。

スライド網戸のネットは「クリアネット」に変更できます

ブラックネットの6割の細さにした糸で、開口0.9mm角という細かい網目を実現しました。ブラックネットに比べ、通風量が2割UP(当社比)、小さい虫がより入りにくくなっています。また、交差部を融着することにより、ホコリがたまりにくく、お掃除がより手軽になりました。

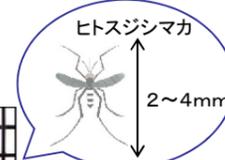
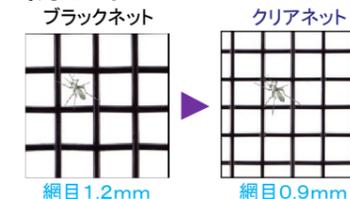
網戸ネットのスリム化で

通風量2割UP※当社比



網目を細かくすることで

防虫性UP



※変更に関する詳細は当社営業窓口までお問い合わせください。